

社内DX！アフターコロナの今、情報システム担当者が eラーニングシステム導入時に抑えるべきポイント

eラーニングの課題を解決して
スムーズに導入する

セミナーレポート

セミナー内容

- タイトル
- セミナー内容
 - ・ 本セミナーの目的
- 問題の明確化
 - ・ 3つの問題
- 解決策
 - ・ 3つの解決策
- 導入事例
- まとめ
- セミナーを終えて

私たちは
eラーニングシステム
Speed LMSのご提供
または、開発～企画・制作を
行っています。

今回のセミナーでは
これらの内容をお伝えして
いきました。

社内DX化を目指してシステム導入を検討されている企業様向けに株式会社 IIJ様との共同セミナーを開催。

実際に導入されたお客様や、導入をご検討中のお客様から寄せられる以下のようなご相談やお悩みに添って解決策をご提案しeラーニングの導入をスムーズに行う為に、抑えるべきポイントをご紹介しました。

ご相談・お悩み

- ・ 導入してもどのように活用すれば良いのかわからない
- ・ 社内教育をオンライン化した但運用管理等で問題がでてきた
- ・ セキュリティは本当に守られているのか心配 etc.

まずはオンライン化したことで起こった問題を明確にしていきます。
その結果、以下3つが問題とされていることが分かりました。

1.

テレビ会議システムを活用した集合研修における問題

2.

eラーニングシステムを導入したが活用できていない問題

3.

受講環境の問題

これら問題がある中、
社内教育のDX化を実現するにはどうすれば良いのか？

次項よりそれぞれの問題を深掘りしていきます！

1、テレビ会議システムを活用した集合研修における問題

こちらの問題は、コロナ禍中に集合研修を行うことが難しくなり、それに変わりzoomやチームスなどのテレビ会議システムによって研修を実施した際に生じた問題です。実際に現場からこんな声はありませんでしたか？

受講者がちゃんと受講し理解しているのか分からない

テレビ会議システムだと受講者がカメラオフにしているため反応がわからず、理解度も把握しにくい点がある。また、参加者管理をしようとすると、名簿とシステムに入ってきた人を一人一人目視して確認するケースもあり、手間がかかる。特に、名前をニックネーム表示されると誰が参加しているのか把握するのが難しく、負担が増えてしまった。

録画した動画をアップしたが誰もみていない

オンライン研修を録画し、参加できなかった方に送っても見てもらえなかったり、見ているか見ていないのかのチェック機能がない為、実際どうか分からない。

研修オペレーションの手間

このように、せっかく教育現場でオンラインなどを導入したが、現場からの声で情報システム担当者の手間が結局増えてしまったり、研修の効果が見込めないといった問題になっているのが実情である。

集合研修の代わりに手軽なテレビ会議システムを導入したはずが、必要な機能が少ないためシステム担当者の手間ばかり増えてしまう。これではあまり意味がありません。

2、eラーニングシステムを導入したが活用できていない問題

こちらの問題は、せっかく導入したものの、社内プロモーションが足りない為か、認知度が低く、活用ができていない為に生じた問題です。

現場がシステムの存在を知らない

情報システム担当者が一生懸命に考えて導入したが、現場の教育担当者や人事担当者がシステムの存在を把握しきれていないことはないか？これは社内プロモーションに力を入れることで解消していきたい問題である。

現場がシステムを使いこなせない

現場がシステムをどのようなことで使えるかイメージできないと、結局使われない事になってしまう。

現場が活用イメージを持ってない

導入されているのに活用できていない場合は、現場にとってシステムが難しい場合も。受講者となる従業員、コース制作担当者や現場の管理者の中には、導入を担う情報システム担当者と比べてITリテラシーが低く、機能や言葉の理解が難しいといった苦手意識をもっている方もいる。そのまま使わずに毎年1・2個しかコンテンツが増えないなどはよくあるケース。

受講者の使い勝手を考慮する事は重要ですが、コース制作担当者や管理者にとってもどうなのか？も考える必要があります。

3、受講環境の問題

オンライン化することで、受講者の利用環境であるネットワークや端末に関する問題もあがります。

端末の環境

在宅で実施する場合は会社から端末は持ち出せない為、個人で準備するのか？もしくは会社が準備するのか？そもそも受講者全員に端末を用意することは費用面としても会社の負担となる。ギガ数もどのくらい必要になるのか。

ネットワーク環境

ネットワーク環境については会社のシステムだけでなく、受講者の自宅の環境も影響してセキュリティ面の問題も。教える内容が機密情報に関わる場合もある為、システムのセキュリティは安全性の高いものが必要になる。

受講者の時間確保

いつでもどこでも受講できるがゆえに、受講が後回しになってしまう傾向も。受講者が進んで必ず受講できるよう、管理者側としても時間を確保する仕組みづくりが大切になってくる。

これらの環境については後ほど解決策にて解説しますが、
[株式会社 IIJ様との共同サービス](#)でクリアすることが可能になります。

次に解決策を考えていきます。
これらを実行することで問題が解消されていきます。

eラーニン
グシステム
を導入・
併用する

現場の声
に寄り添っ
たシステ
ムにする

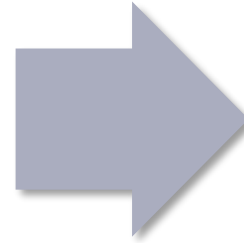
受講環境
の整備

今までの問題は
3つのキーワードを抑えることで解決へとつながります。

次項から解決策のヒントを得ましょう！

1、eラーニングシステムを導入・併用する

テレビ会議システムの問題



eラーニングシステムに
切り替えることで解決

eラーニングシステムに切り替えれば、受講者の管理も容易に可能。
録画された研修内容もしっかり視聴されているか、チェック機能もあります。

しかし、これはあくまでシステムを使いこなせばの話であり、

- ・そもそもコンテンツの作り方がわからない
- ・どのように運用すればいいのか？

と現場からの問い合わせが絶えず、返って情報システム担当者の負担になりかねません。

その為、これらの問い合わせがないよう考えを先回りし、現場にとって本当に使えるeラーニングシステムの導入を検討したり、システムの見直しを行いましょう。

では、具体的な解決策は？どうすれば良いのでしょうか？

2、現場の声に寄り添ったシステムにする

現場はどのようなシステムをもとめているのか？

現場に合わせる

現場が使いやすいよう
カスタマイズする

教育に特化した
シンプルで使いやすい
eラーニングシステムの導入

受講者管理
がついている

リアル集合研修と
eラーニングシステム
の併用

運用がしやすくな
るイメージを持た
せる

活用イメージを
持ってもらおう

eラーニングシステムを導入したが活用できていない問題には、このような現場の視点が大切です。
そこで登場するのが、【簡単！わかりやすい！シンプル！なSpeed LMS】です！
今回のセミナーでは、ITに疎い方でもSpeed LMSであればいかに簡単に作成が可能か
「テスト用の動画アップとテストの作成デモ」を行いました。
実際に使えるどうかの判定は現場の人たちにしてもらい、
判定基準として「情シスに問い合わせがあまりこない」を目指しましょう！

Speed LMS



Speed LMSは、
徹底的にご利用者の事を考えた、
eラーニングシステムです。



- ✓使いやすいI/F
- ✓動画の自動エンコード機能
- ✓個人の学習進捗管理、習熟状況管理が容易
- ✓ストリーミングでの集合研修後にテストとして活用することも可能

以前のeラーニングは社員教育しかほとんどありませんでしたが、最近ではこのような活用でも注目されています。もちろん、Speed LMSでも様々な活用をお手伝いしています。

- 社長メッセージの周知
- 代理店ビジネスのサービスレクチャー
- 営業マンへの新商品教育
- 製品マニュアル
- 店舗のアルバイト教育
- 製造部門への技術継承

eラーニングというひとつのシステムでたくさんの活用法があり、営業部や社長室、商品開発部など、様々な部署でも使えるとても便利なツールです！

この他、後の導入事例ページもご参考に現場の方にプロモーションいただき eラーニングを活用することで社内教育のDX化を実現しましょう！

3、受講環境の整備

受講環境のセキュリティを整えるための問題解決策はこちらのサービスで。詳しくは別途お問い合わせください。

受講の問題

日本においてセキュリティNo.1のクラウドセンターIIJ様とパートナーとしてSIM付サービスを共同提供しています。

- ・クライアントの証明書を出せるか？
 - ・SIMを勝手に使われないか？
 - ・業務用ではない個人端末でも心配ないか？
- と、これらの不安要素も含めてすべて解決できるのです。

受講者の時間確保の問題

SIMがあればセキュリティが安全なので、一人一台の端末を用意しなくても、様々な端末で受講が可能。その為、業務時間のうちに従業員同士で受講時間を確保し合うことができ、受講を後回しにしてしまうことも防ぐことができます。

SIMで
解決

	持っていた課題	課題解決
R様	<ul style="list-style-type: none">・ 3社以上のeラーニングシステムが混在していて複雑であった・ コースは情報システム担当者しか作れなかった・ eラーニングシステムの運用が情報システム担当者と現場双方の負担となっていた	<ul style="list-style-type: none">・ 現場が情報システム担当者に相談しなくても利用できるシステム機能に変更・ どうしても必要な機能はカスタマイズできることで対応（SSO、人事DBとの連携、クライアント証明書など）



効果

＜システムのシンプル化による効果＞

効果1：1つのシステムにすることでわかりやすい運用とコストダウンが実現

効果2：制作現場の管理者が活用できるUIにしたことで情報システム担当者の負担減

効果3：カスタマイズによって使い勝手が良くなった

	持っていた課題 ＜コンテンツ制作の負荷＞	課題解決 ＜コンテンツ制作の負荷を下げる＞
G社	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システム担当者をお願いしないとコンテンツ制作ができない・ 大量のコンテンツ制作が必要な際に、内製化だけでは、内部コストが負荷となる	<p>A：同じグループ内でZoomをつなげて、録画するパターン（内製化）</p> <p>B：研修用資料のパワーポイントを開き、パワーポイントの録画機能を使うパターン（内製化）</p> <p>C：PPTを外部に渡し、NA原稿を作成し、プロのNAに音声を入れてもらう（外部委託）</p>



効果

＜コンテンツ制作負荷の軽減による効果＞

効果1：A・Bの簡単に制作できる手法導入で1年間で200コンテンツ以上増加

効果2：Cの導入によりコンプライアンス問題の解決と学習効果アップの実現

いかがでしたか？

実際の弊社事例をご覧になり、自社での解決策などイメージできたことでしょうか。

最後にポイントをまとめました。

シンプルで簡単な機能で
本当に現場で使えるものを選ぶ

eラーニングシステムの
活用方法を
具体化して周知する

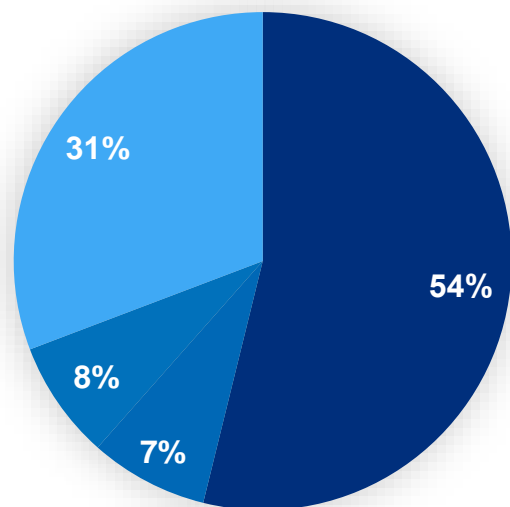
受講環境の整え

注目すべき3つのポイントを抑え、eラーニングをスムーズに導入しましょう！

セミナーを終えて：参加者アンケートより

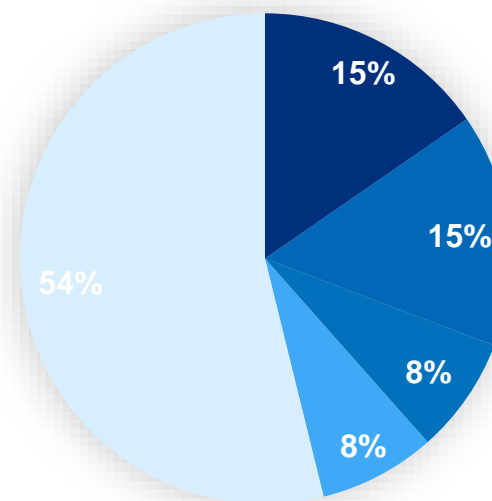
セミナーにご参加いただいた方に現在の状況についてアンケートを実施しました。
eラーニングシステムをすでに導入されている方が多数でしたが、問題を抱えている声も。
中には弊社【eラーニングスタートアップ】にご興味をお持ちの方もいらっしゃいました。

現在、eラーニングシステムを
利用していますか？



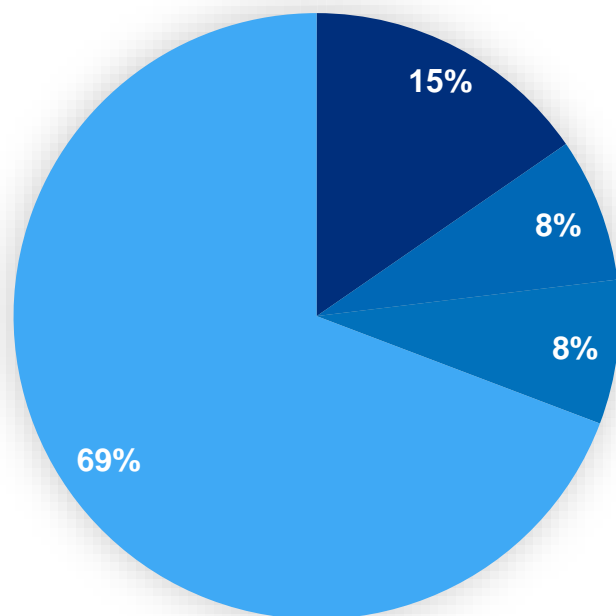
- 利用中
- 利用していないが利用を検討中
- 利用していないが利用を検討中
- 無回答

教育のDX化を行う上で
お困りのことは何ですか？



- 教育コンテンツの作成や準備
- 端末手配
- 無回答
- 自社に適しているEラーニングシステムの選定
- その他

eラーニングシステムに関する状況を教えてください。



- 既にご利用していて特に不満はない
- 個人的な興味
- 検討に向けて情報収集中
- 無回答

現状に不満はないが、新商品の開発を検討されて参加された方もいらっしゃいました。

今回ご参加いただいた方々の目的を参考に導入をご検討されている企業様、お困りごとを相談したい担当者様、

それらは弊社のSpeed LMSで解決します！ぜひお気軽にお問合せください。



私たちITBeeはeラーニングの専門家です

企画設計からコース制作、システム開発までワンストップでトータルにご提案できる、それがITBeeの強みです。

業界経験20年以上の企画ディレクターから、ライター、デザイナー、システムエンジニアまで、eラーニングの導入に必要なプロが全て揃っており、お客様の目的に合わせて、コースの制作からシステムのご提供まで、幅広くサポートいたします。単にパッケージをご提供するだけではなく、本当に効果的なeラーニングを実現するためのソリューションをご提供いたします。

- ✓教育コンテンツ制作も可能
- ✓多数の導入実績がある
- ✓情報セキュリティのリテラシー向上など具体的なテーマに応じた教育ノウハウがある
- ✓Speed LMSの入替え実績も多数

Speed LMS 導入無料相談会開催中！

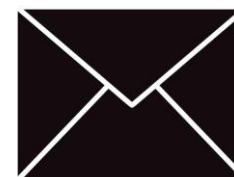
eラーニングシステムについて知りたい、どんな機能があるか知りたい、費用を教えてください、など、様々なご質問に専任ディレクターがお答えします。

お電話でのお問い合わせはこちら
受付時間：10:00～18:00（土日祝日除く）



03-6276-7142

メールでのお問い合わせはこちら
（SpeedLMS運営事務局宛て）



info@itbee.co.jp

詳しい資料をご用意しております。

ありがとうございました。